



研究所だより

令和3年度をもってご退職される先生方を代表して、2人の先生にお言葉をいただきました。

キラキラ輝く瞳に包まれて

義川 恭子（草津第二保育所長）

園庭で伸びやかに遊ぶ子どもたちの姿を見ると、幸せな気持ちになります。転んでもすぐに立ち上がり、また元気に走り出す意欲、そんな子どもの姿に勇気をもらい支えられ、嬉しいこと、悲しいこと、苦しいこと、楽しいこと、たくさんの出来事を乗り越えてきました。子どもたちを育てるといふより、私が育ててもらった、そんな気がします。出会ったすべての子どもたちに感謝の気持ちでいっぱいです。

保育の中で、「あなたのことが大好きだよ」「ちゃんと見ているよ」「信じているよ」というアイ（愛・目）メッセージを保育者が送りながら関わることで愛着関係が育ち、「やったー できた もっとしたい」という経験を積み重ねることで、仲間を大切にできる心が育ち、自分も人も好きになれる人に育ち、自己肯定感をもつ人に育つ。それが草津市の保育が目指してきた一人一人を大切にできる保育【人権保育】だと思っています。

（保育とは「保」護して教「育」するという意味です。）

私の保育士としてのスタートは、草津第二保育所で2歳児の担任でした。その時に強く思ったことは、「この子らが大人になった時、差別がない社会になってほしい」という思いでした。月日は流れ、担任していた子どもたちが大人になり、親となり草津第二保育所に帰って来てくれ、子育てに励む姿はとても誇らしいです。ただ、はじめの気持ちは今も同じです。

子どもたちが毎日、笑顔で過ごせる環境こそ、真に平和で安心な社会だと思います。未来を支える子どもたちのために【人権保育】を進める中で、しっかり愛着関係を築き、一人一人の自主性を育む保育を実現して行ってほしいと願います。



後続く方々へ

大林 道範（矢倉小学校長）

「Boys, be ambitious : 青年よ、大志を抱け」はウィリアム・クラークが札幌農学校教頭職を退く際の言葉だ。別離を惜しむ学生たちに放った、馬上からの一声。実にカッコイイ。教職に就いた若い頃、教壇から降りるときはこんなふうにしてみたいと夢を描いていた。が、現実には、馬もなく英語もできない、白髪ばかりが目立つ老人となった。

先の名言には尾ひれがついている。彼は続けて、「それは金銭や我欲のためにではなく、また名声という空しいものためであってはならない。人間として当然そなえておくべきあらゆることを成しとげるために、大志をもて」と。さらに、別の記録では、「この老人のごとく」と一言添えたとも。いずれにせよ、別れの言葉を述べ、馬尻に一鞭加えて塵埃を起こして去ったのは確からしい。

こうなると、カッコよく退くのは見栄えだけではないことに気づく。実際問題、教え子は、屋外の、しかも馬に蹴られないよう少し離れたところで、そんな長ったらしい英語なり、老人の一言二言なりを聞き取れたのか、怪しくなる。注目すべきは、これらの尾ひれが厳然と今に伝えられ、支持されていることだ。おそらく、平日頃から幾度となく心にしみるのが教え子に語られ、後続く者が心底救われたからだろう。

翻って自分の場合はどうか。クラークほどでなくてもよい、くりかえし語って聞かせたと自負できるものはあったらどうか。目に見えるかたちの業績より何を大切にするとよいか、依るべき道筋を心に刻んでおいてほしいと願ってきたのだが、今となっては…。草津の先人の部類に仲間入りする自分が何を語り、伝えることができたかは、今の若い方たちに託されたことである。よきように取り計らっていただきたい。

令和3年度 草津市教育研究奨励事業

今年度も多くの先生方が本事業に応募してくださいました。ありがとうございました。

教育研究奨励事業は、市内の教職員・保育士の自発的な教育研究活動の促進を図るため、個人またはグループの研究に対して奨励賞を授与しています。研究に取り組む中で、教育・保育現場における意欲的かつ創意あふれる学級、学年、学校・園・所の経営ならびに学習指導法の改善と充実につながることで、教職員・保育士の資質向上、草津市の教育・保育の向上を図ることを目的としています。

今年度の応募状況は以下の通りで、応募総数は49点でした。

	保・幼・こども園	小学校	中学校	合計
①就学前教育研究部門	7点			7点
②ステップアップ研究部門		9点	5点	14点
③フレッシュ研究部門		19点	9点	28点
	7点	28点	14点	49点

応募者は若手の保育士、教職員から管理職に至るまで幅広く、また継続して応募される方もおられます。研究主題は「見方・考え方」「不登校」「Teams」「iPad」「学習支援動画」「AIドリル」「チーム学校」など教育現場における今日的な課題や、教員に求められている資質や能力に関するテーマが多く見られました。

令和4年2月22日（火）に、教育研究所2階研修室において、規模を縮小した形で研究奨励事業表彰式を行いました。藤田雅也 教育長より賞状が、草津市教育会より副賞が授与されました。校園所賞には、草津中学校が選ばれました。おめでとうございます。



ご応募、ありがとうございました！
来年度も、たくさんのご応募をよろしくお祈りします。



以下には、今年度御応募いただいた研究主題および審査結果の一覧を掲載しています。

最優秀賞・優秀賞に輝いた先生方の中から、次年度夏季休業中の研究発表大会において研究内容を発表していただく予定です。

今後とも教育研究所の研究奨励事業への御支援、御協力をよろしくお願いいたします。

令和3年度 研究奨励事業 審査結果

部門	学校名	形態	応募者(グループ名)	研究主題	賞区分
就学前教育研究部門	1 草津中央おひさまこども園	グループ	きらきらおひさまバルーン隊	特別支援児視点から出発する保育環境づくり ～クラス間を超えて「やってみよう」「たのしかった」と思える支援の在り方を探る～	奨励賞
	2 矢橋ふたばこども園	グループ	矢橋ふたばこども園保育を語る会	園庭改造プロジェクトEASY TO SAY DIFFICULT TO DO ～新たな付加価値を生み出し、誰一人取り残さない園庭環境への挑戦～	優秀賞
	3 笠縫東こども園	グループ	保育にもっとICT	思わず心が動く保育を目指して ～保育室にもICT できるよ できるよ やってみよう～	優秀賞
	4 山田こども園	グループ	YDMチーム山田21	しなやかな心と体を育む遊びの充実 ～「やってみよう」「できた」「もっとやりたい」を引き出す保育を目指して～	奨励賞
	5 矢倉幼稚園	グループ	幼児教育の可能性を切り拓く会	幼児教育の本質が見える・伝わる・実感できる教育実践 ～誰もが“かがやき”、誰もが“あきらめない”、矢倉幼稚園～	優秀賞
	6 矢倉幼稚園	個人	森 登世美	小さな幼稚園の本気改革Ⅱ ～困難を乗り越える園経営～	最優秀賞
	7 玉川こども園	グループ	チームTMG	子どもの好奇心をくすぐる保育環境とは ～記録を活用した「やってみよう！」につながる遊びの充実～	奨励賞

ステップアップ研究部門	1	志津小学校	グループ	志津小学校校内研究部	数学的見方・考え方を働かせ、対話を通して学びを深める授業づくり ～読み解く力を高め、互いを認め合う子どもの育成～	奨励賞
	2	志津小学校	グループ	夢と志を育む会	不登校を支援する学校体制の構築 ～学校に行きたい気持ちを支える教職員の連携と「ここにこルーム」の整備を通して～	最優秀賞
	3	志津南小学校	グループ	3S研修グループ	Teamsを活用して、みんなでスキルアップ！ ～3S研修を通して～	奨励賞
	4	渋川小学校	個人	三品 友博	子ども達が主体的・対話的に取り組む算数科の授業作り ～「読み解く力」の視点を踏まえて～	奨励賞
	5	玉川小学校	グループ	玉川小学校校内研究推進部	対話を通して、仲間とともに考えを深め、自己に生かそうとする子どもの育成	奨励賞
	6	南笠東小学校	グループ	チームMGH「あしたをめぐってGO！」	校区への「ふるさと」意識を高める教育実践の検討 ～みな小おうえんたいとの連携を通して～	奨励賞
	7	南笠東小学校	個人	山本 尚司	居心地のよい学校づくり ～学校に来づらい児童との関わりから～	奨励賞
	8	常盤小学校	個人	青山 哲士	高学年の連係プレイ型への系統性の一考察 ～中学年の攻守一体プレイ型教材に着目して～	奨励賞
	9	高穂中学校	個人	中西 一雄	Microsoft Teamsを常時活用した双方向型理科授業の実践と効果の検証	優秀賞
	10	高穂中学校	個人	山田 周峰	学び合いを通して教科教育の充実を図る	奨励賞
	11	草津中学校	個人	水谷 哲郎	「中学校社会科における適正な評価に関する研究」 ～主体的に学習に取り組む態度の評価に焦点を当てて～	最優秀賞
	12	老上中学校	個人	国本 ゆかり	特別支援教育における連携の重要性	奨励賞
	13	新堂中学校	個人	大岡 みすず	中学理科における科学的思考を育むための授業改善 —話し合い活動を通して思考・判断し豊かに表現する力を高める—	優秀賞
	14	笠縫東小学校	個人	西島 望美	人や物との関わりを通じた「話したい」「聞きたい」「考えたい」授業の創造 ～子どもたちの自信や意欲を高める学校としての取り組み～	奨励賞

フレッシユ研究部門	1	志津小学校	個人	中田 麻依	見方・考え方を働かせ、学びを深める授業づくり	奨励賞
	2	志津小学校	個人	尾副 智基	ICT機器を効果的に活用した授業実践	奨励賞
	3	志津南小学校	グループ	特別活動部	AAGのみんなで、安心・安全・元気な学校にしよう！	奨励賞
	4	志津南小学校	個人	城田 悠生	気持ちのよいスタートダッシュを目指して ～朝の活動で高める児童の主体性～	奨励賞
	5	草津小学校	個人	小森 千鈴	子ども一人ひとりがのびのびと個性を出せる学級づくり	優秀賞
	6	草津第二小学校	個人	山尾 果鈴	表現力を高める草二っ子の育成	優秀賞
	7	草津第二小学校	個人	金延 登太	自尊感情を育み、のびのびと自分らしきを出せる学級づくり ～子ども同士の繋がりがや教師のかかわりから～	奨励賞
	8	渋川小学校	個人	福田 崇仁	「地図がもっと好きになる」教科横断的な地図帳の活用	奨励賞
	9	矢倉小学校	個人	五月女 暉	運動好きな子どもを生み出すための仕掛けづくり “矢倉体力向上プロジェクト”	奨励賞
	10	老上小学校	個人	久田 亜弥	読み解く力を発揮する子どもの育成	奨励賞
	11	老上小学校	個人	林 幸恵	自分も友達も大切にできる子どもの育成 ～個と集団がつながる学級～	奨励賞
	12	老上小学校	個人	津田 雅貴	児童の体力・運動能力向上をめざした授業実践について	奨励賞
	13	老上西小学校	個人	田中 隼太	「自分事」として捉え、主体的に取り組む保健学習	奨励賞
	14	老上西小学校	個人	舘 朋希	「附属新潟式学級力」に関する実践研究	奨励賞
	15	玉川小学校	個人	杉本 亜弥	「分からない」が言える学級づくりから学力向上を目指す	奨励賞
	16	山田小学校	個人	土井 祐磨	数学的に表現し伝え合う活動を大切に授業の工夫	最優秀賞
	17	笠縫小学校	個人	吉野 歩実	小学校教育を充実させる校内研修等に関する実践研究 —校内教員のICT活用能力向上をめざして—	奨励賞
	18	笠縫小学校	個人	松井 友志	自立した学び手育てるための自主学習指導に関する実践研究	奨励賞
	19	常盤小学校	個人	田中 優芽	「わかった」「できた」「楽しい」を実感できる算数科の授業づくり	奨励賞
	20	高穂中学校	個人	辻本 貴大	令和時代の学習支援～学習支援動画による知識の定着をめざす～	優秀賞
	21	高穂中学校	個人	黒木 竜成	コロナ禍における新しい学習形態・学習環境から見た、新時代に求められる生徒の力 ～学校教育目標を意識した授業展開～	奨励賞
	22	高穂中学校	個人	山脇 由裕	科学的・論理的思考力を育むための教育方法の構築	奨励賞
	23	草津中学校	個人	西田 杏奈	「チーム学校」で取り組む道徳 —子どもの心に響く授業づくり—	奨励賞
	24	草津中学校	個人	仁科 秀哉	効果的な人権学習の実践研究	奨励賞
	25	草津中学校	個人	佐竹 二三也	幅広い学力層の生徒に対して効果的な文章問題の指導法提案 ～文章問題の作問を取り入れた授業展開～	最優秀賞
	26	老上中学校	個人	山崎 龍馬	英語で人権について考える ～草津型イメージ教育を通して～	奨励賞
	27	玉川中学校	個人	引地 顕秀	AIDRILを用いた基礎学力を伸ばす数学学習指導	奨励賞
	28	松原中学校	個人	谷口 晋吾	作文指導をととして生徒の学力向上をめざす	優秀賞

1 研究主題 情報活用能力を伸ばすための小学校社会科の授業改善Ⅱ
～ 一人一台のタブレット端末を活用して ～

2 研究の概要

新学習指導要領において、情報活用能力は各教科の学びの基盤となる資質・能力の1つと位置付けられ、教科等横断的な視点での育成が求められている。本研究の目的は、情報活用能力を伸ばすための授業改善の提案（2年目）である。学習過程において、一人一台のタブレット端末や思考ツールを活用し「主体的・対話的で深い学び」を目指す「New-KAL（新草津型アクティブ・ラーニング）」の視点に立った実践に取り組んだ。

3 研究の方法

- (1) 情報活用能力についての意識調査を行い分析し、実態把握をする。
- (2) 実態把握で課題となった情報活用能力（思考力・判断力・表現力等に関わる力）を伸ばすための授業設計をする。
- (3) 研究協力校の小学校5年生の1クラスを中心に、一人一台端末を活用した授業実践を行う。
- (4) 授業実践後、再度意識調査を行い、有効性を検証する。

4 本研究における授業設計の視点

- (1) 学習者主導で疑問等から学習の課題を立てる流れをルーチン化する。（導入で使う資料の厳選）
- (2) 資料から事実を読み取り、それに対する考えや疑問をもつ力（情報を分析する力）を伸ばすために、導入段階から意見交流をする。
- (3) 自分の考えをまとめる際に資料を選択して使えるように、基本の資料をクラウド上に保存しておく。（資料の厳選と提供）
- (4) タブレット端末上で情報を自分で整理する。（クラウド上への記録）
- (5) 思考ツールを活用し、集めた情報を整理したり、協働的に情報を分析したりする。
- (6) 情報を発信する際には、一方的ではなく相手と意見のやり取りをしながら発表する。

一人一台のタブレット端末については、「文房具」として使えるよう、いつも手元に置き、「いつ使うか」、「どのように使うか」を学習者が主体的に選べるようにする。

5 研究の成果

- (1) 一人一台のタブレット端末を主体的に活用し、協働的に情報を整理・分析・表現する学習を通して、情報活用能力の「情報を整理する力」や、「情報技術や情報収集の知識・技能」が高まった。また、「思考力・判断力・表現力等」に分類される情報の収集、整理、分析、表現という社会科学習の一連の流れにおいて、それぞれの力が向上した。
◎情報をまとめて表現する力の向上 ◎情報を整理・分析する力の向上
- (2) アナログ（紙と付箋）ではなく、デジタル（Teams+PowerPointの協働編集）の思考ツールを使った学習は、昨年以上の効果がみられた。
①操作性の向上（近寄らなくてもできる） ②修正の簡便さの向上 ③共有化の有効性の向上

6 今後の課題

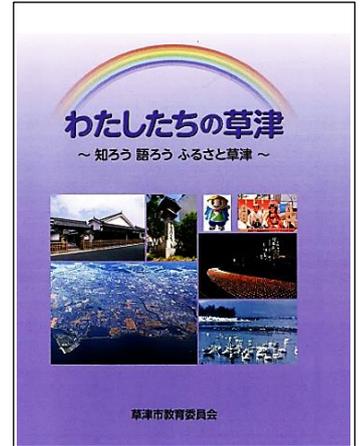
- (1) より正確な分析をするためには情報活用能力を測る具体的な指標（ルーブリックなど）やテストを活用して学校全体で取り組むことが求められる。
- (2) 資料の読み取りや、意見交流後の書き込みの時間をどのように生み出すかが課題。
- (3) 一人一台端末を文房具のように扱い、児童が主体的にその機能を使えるようにするためには、ICT等活用スキルを一覧化し、児童自身がチェックできる6年間を通したチェックシートが必要である。

地域教材（わたしたちの草津）の編集について

1. 今年度の取り組み

令和2年3月に発行した新しい地域教材（わたしたちの草津）は3年間分しか発行されていないため、現在の副読本を見直し一部改訂作業を行いました。

- ・第1回推進委員会・編集委員会（全体）・・・ 令和3年5月21日
- ・各委員による取材活動、編集作業等・・・ 令和3年5月～令和4年1月
- ・第2回編集委員会（グループ毎に）・・・ 令和3年8月23日、24日
- ・第2回推進委員会（原稿確認）・・・ 令和3年8月23日、24日
- ・第3回推進委員会・編集委員会（全体）・・・ コロナ禍により中止



編集委員の先生方には、問題解決的な学習に導けるような紙面構成になっているか（児童が資料をもとに主体的に課題を考えられるか）、写真やグラフなどの資料は新しく適切かという視点で編集作業を行っていただきました。一部の予定でしたが、よりよいものをとという思いから大幅に改訂することになった单元もありました。来年度に業者選定の上、印刷・発行。令和5年度春に配布予定です。

「わたしたちの草津」改訂版は令和5年度春に配布予定です

- 
- ①より学習指導要領に合わせた紙面構成に。
 - ②資料をより新しいものに（例：2021年の災害の写真）
 - ③環境教育の視点をもたせるためにSDGsマークを挿入。
 - ④調べ学習の時間短縮化につながるQRコードの挿入。

7

わたしたちが住んでいる地いきでは、今までにどのような自然災害が起こったのでしょうか。また、自然災害にそなえて、どのような取り組みをしているのでしょうか。

1909年 姉川地震被害
1981年 五六豪雨被害

12017年 姉川が増水した時の様子

12021年 草津市土砂災害の様子

① 自然災害から命を守る

つかむ
滋賀県では、昔どのような災害が起こったのでしょうか？

③ 見方・考え方のポイント
いつ起こるかかわらない災害にそなえて、どのようなことができるか考えよう。

さいがい
自然災害から人びとを守る

④

①

1 名神高速道路付近（1988年ごろ）
1 名神高速道路付近（2008年ごろ）

2 JR草津駅付近（1988年ごろ）
2 JR草津駅付近（2008年ごろ）

出典：国土地理院<国土地理院の地図を改修>

土地の様子
土地の様子が変わる航空写真を見て、気がついたことを話し合いました。

「新しい高速道路ができているね。
山地の面積はせまくなっているね。」

「田んぼがへって、家がふえているね。」

「人々のくらしはどのように変わったのかな。」

気づく
草津市の土地の使われ方は、どのようにかわってきたのだろう。

見方・考え方のポイント
草津市の土地の様子が変わってきたのは、なぜだろう。
人口の変化、交通の様子の変化となつて考えてみよう。

16



第2回草津市教職員自己啓発講座（道德教育）

「考え、対話する」道德の授業づくり講座

11月19日（金） 滋賀県教育委員会事務局 幼小中教育課 指導主事 川村友子さん

道德の目標に基づき、4つの学習過程を確実に

☆「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくり☆

～「ねらいの明確化」「発問の吟味」「自己の振り返りの充実」～

<道德科の目標> 道德教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道德性を養うために、

- ①道德的諸価値についての理解を基に、
- ②自己を見つめ、
- ③物事を広い視野から多面的・多角的に考え、
- ④人間としての生き方についての考えを深める学習

学習過程

を通して、道德的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

①道德的諸価値の理解

- 価値理解…(例)“親切”って生きていく上で大事だね。
- 人間理解…(例)いつでも“親切”にするって難しいよね。
- 他者理解…(例)困っている人がいた時、“親切”にできる人と恥ずかしくてできない人がいるよね。

②自己を見つめる

(例)C「いやだと思った」← T「どうしてそう思ったの？」 自己理解を深める

1時間の理解が浅いと感じたら、同じ内容項目の次の授業で深められるようにする

③多面的・多角的に考える

…発達段階に応じて2つの概念が互いに矛盾、対立しているという二項対立の物事を取り扱うなど指導上の工夫をし、他者と対話したり協働したりしながら考えを深める

④自己の生き方についての考えを深める

- 自分自身の問題として受け止める
- 伸ばしたい自己を深く見つめる
- 自己の生き方として実現していこうとする思いや願いを深める

講義のあと、実際に学習指導案を作りました。学習指導要領の「2内容項目の指導の観点」を読み、ねらいを明確にすること、授業後の子どもの姿を明確にして授業を組立てていくことの大事さを教えていただきました。また、同じ内容項目でも教材が違えば、めあては違うこともご教示いただきました。

参加者の感想 満足度 ★★★★★…8名 ★★★★★…2名

・教材研究はいつも朱書きの指導書ばかりだったので、学習指導要領を読んでからやってみようと思いました。4つの学習過程をいつも意識して授業をつくりたいです。

・まだまだ私は道德教育に自信がなく、子どもたちに上手く授業できずにいますので、基本的なことから丁寧に説明してくださって、とても分かりやすかったです。交流もできて次に生かせそうです。

・同じ主題の題材でも、どのように変化させて授業を作るとよいか学びました。教材と実態からねらいを考えていきたいと思います。





第3回草津市教職員自己啓発講座（イマージョン教育）

Let's challenge 草津型イマージョン教育！

1月17日（月） 佛教大学准教授 赤沢真世さん／大阪成蹊大学准教授 福岡亮治さん

イマージョン教育は、どの子ども取りこぼさない授業づくりの視点に通じる

子どもの多様性に対応する ユニバーサル(UD)授業の視点へ

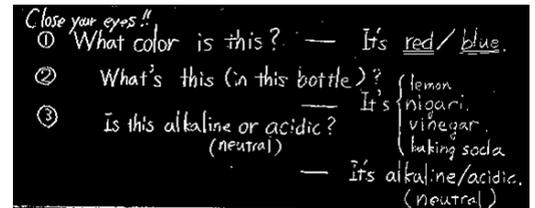
今回の授業は… 英語専科×理科の先生(担任) 単元:6年生「水よう液の性質」ムラサキキャベツの汁で調べよう

◆英語の視点 ○どんな表現が使えるか？

(難しすぎず、子どもたちの生活に近い言葉で)

○英語をどこまで文字で提示するか？

ちなみに…板書した方が英語でのやり取りが増えた



◆理科の視点 ○使う教材をどうするか？

(危険な薬品は使わない、身近な食品で→家でもできる)

○どのように提示するか？ (演示か、個別か、グループか)

○子どもがどのように動くか？ (実験の方法の工夫)

○子どもはどこに興味を持つか？ (理科的な興味関心)



みんなが分かるようにするには…

教材の提示にこだわる

視覚的な支援

◎英語の絵カード、写真の提示 ◎場面設定を明確にした「劇(スキット)」を見せる
→見せ方(魅せ方)にこだわる…Acidic は赤に、Alkaline は青に
容器は黄色・緑色・青色に(BTB 液反応の色)

場面設定のある「くりかえし」

UDの視点
一つのことを明確に指示
してもらおうとわかりやすい

◎目的や場面、状況において、英語が発せられ、動作や流れがヒントになって、理解することができる。
※理科の視点では、繰り返しは「自分たちで考える」機会を奪う!?
→英語なら何回も繰り返すことができるし、理解できる子ども増える

①「学び直し」と②「発展」

理科①酸性・アルカリ性の概念、試薬の色変化

②BTB溶液の変化、身近なもの(食品)の性質

英語①色(red,blue,yellow,green)、形(square,circle) 尋ねる表現

②教科内容の英語(acidic/neutral/alkaline) put など動作の英語

参加者の感想

満足度 ★★★★★…5名 ★★★★★…4名 印なし…1名

- ・小学校外国語における指導者の役割の中で、担任が子ども達(学習者)のモデルとなるというのが、すごく納得できました。苦手な子の見本になり、その子が安心できるような役割を担いたいと思います。
- ・イマージョン教育という新しい形態の学習を体験させてもらい、今後の教育活動に活かせることがたくさんありました。英語で取り組むため、どんな子にも伝わるように、掲示を工夫したり構成を考えたりすることが必要になるし、重要になると感じました。
- ・専門知識がたくさんある方達でもイマージョン教育の授業を組み上げていくことは一筋縄ではいかないと感じました。自身でもやってみたのですが…。今後も考えていかなければならない課題です。



第4回草津市教職員自己啓発講座（外国語教育）

Let's challenge 英語でコミュニケーション！

11月26日（金） （株）インタラック関西東海 ALT 講師の先生方

There are two rules.

1. Use many tools! 「All tools, O.K.」
…… Japanese, English, Gesture, Pictures, Faces, Points(指さす)
2. Make mistakes! 「Mistakes, O.K.」

Category Game Category を提示(スライド)し、関連する英単語をどんどん言い合う。

1分後のブザーが鳴った時の人が「Oh, No~!」
(山手線ゲーム的な)

①school ②the beach ③supermarket

できたら「Super nice!」
みんな「Super nice!」

Guessing Game 「Secret item in the box.」ペアになって、一人がスライドを見てヒントを出す。

「Hint1~」『〇〇?』 ※中学校のウォーミングアップでよく使うそうです

「Hint2~」『〇〇?』 ex)cat, elephant, watermelon, Italia

Continue Talking ① How do you stay warm in winter?

② What do you do when you're hungry?

(Rules) You can ask "why?" or say "Tell me more."
You can ask different questions.
Don't stop talking for 1minute.

高校での実践 「You can get 1 million dollars, but...」 1億円もらえるけど…もらう？

「\$1=¥100」「\$1,000,000=¥100,000,000」 もらわない？

(Rules) 1.Situation ①You will be blue. ②You cannot use “あ”.
③You cannot go to convenience stores.
④When you use a smartphone, you must wait 10 seconds.

2.Discussion Round1…Japanese O.K. English O.K.
Round2…Japanese O.K. Let's use English.
Round3…Only English.

3.Money 「Will you take the money?」「Yes or No?」

参加者の感想 満足度 ★★★★★…5名

・盛りだくさんの内容で、実践的なものだったので、使えるアクティビティは早速来週から使ってみようと思います。また、たくさんアクティビティを教えてください。

・小学校、中学校、高等学校でされているゲームを実際にやってみて楽しく学ぶことができました。なかなか失敗するのは難しいですが、ルールとして明示してあげると安心して話すことができるのかなと思いました。

・小学校では、いつもの教室で担任が行うことがあるのですが、いつもと違う話せる雰囲気を作り出すこと・安心して失敗できる空気感があることが重要だと感じました。TT である時など、担任がオーバーアクションで楽しんでできると、子どもたちも楽しくできると思います。





NEW 草津型アクティブ・ラーニングで授業改善 ～スキルアップ支援講座を振り返って～

スキルアップ支援講座は、「授業展開の工夫や学級経営」、また「ICT機器（電子黒板、タブレットPC等）の普段使いを通して『主体的・対話的で深い学び』をどのように実現するか」を、対象の先生方とともに考えてきました。その成果として、特に今年度は、オンライン学習が頻繁に行われたこともあり、子どもも教師もタブレットの操作技術が格段に向上しました。また3学期、コロナ禍による制限のある中でも、対話的な学習にオクリンクやムーブノートを使った意見交流を積極的に取り入れるなどして、子ども同士の深め合いの場をどう作るかを意識した授業展開がたくさん見られました。



スキルアップ
対象者から

- ・ワークシートや電子黒板を用いての授業の進め方のコツのようなものが少しかめた気がする。
- ・日頃気づかずに使っている言葉遣いやクセに気づかせていただいたり、自分の良さを伝えてくださったりしたので、これからも頑張ろうというモチベーションになりました。
- ・授業を見ていただき、私の課題点だけでなく強みを見つけてくださったことが、とても心の支えになりました。
- ・自分ではなかなか気が付かない授業の改善点を丁寧に教えてくださって、勉強になりました。授業以外の学級経営のことや、困っていることもたくさん話を聞いてくださいました。
- ・タブレットを意識して使うきっかけになった。他の人に授業を講評してもらう機会がなかなかないので、客観的に自分を見つめ直すきっかけになった。

ICTスキルアップ支援講座を振り返って



オンライン

「いつでもオンラインを使いこなす」

Teamsのビデオ会議を利用したオンライン授業だけでなく、課題の配布と回収、データやリンクの配信、Formsのアンケートなどクラウドコンピューティングは、すでに学校教育の一部となっています。



小学1年



小学3年

「プログラミング学習の定着をめざして」

「みんなの中には、将来プログラミングをする仕事に進む人もいないかもしれませんね。」と言っていたのはもう過去の話です。今は「将来どのような進路に進んでもプログラミングを学ぶことは大切です。」とたいたいです。中学校では技術の時間「情報の技術」だけでなく、数学科の発展としてプログラミングの授業に挑戦していただきました。



小学5年



小学4年

教材は、草津市立教育研究所 HP>学習教材リンク>草津市 Scratch プロジェクトで公開しています。



中学1年

やまびこだより

適応指導教室から

♪**囲碁ボール**♪ 1月26日に開催した
たびすけDAYでは、みんなで一緒に囲碁ボ
ールをして楽しみました。それぞれのチームに分
かれてボールが入った点数を競い合いました。



☆たびすけDAY☆



♪**ひな人形飾りつけ**♪ 2月7日、みんな
でひな人形を箱から出して飾りました。「この段に
はどの人形を飾るの?」、「並べる順番は?」、「どん
な風にひな道具を並べればいいのか?」など、みんな
で大騒ぎしながら飾りつけました。

適応指導教室には、今年度22名の児童生徒が在籍していました。先生方には、お忙しい授業の合間に適応指導教室の子どもの様子を見に来たり、各種行事の折に見学に来たりしていただき、ありがとうございました。教室に通う子ども達は、とても喜んでいました。また、各関係機関の方々にも大変お世話になりました。皆様この1年間、本当にありがとうございました。

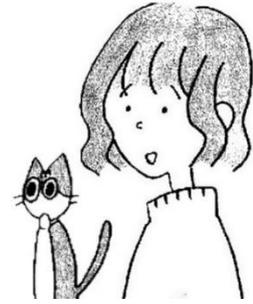
相談室から

教育相談室での相談は、昨年度と比べると小学生の相談が減少した一方で、中学生の相談が増加しました。傾向として、小学校中学年頃から学習に対して自信が無くなったり、友達や集団の中に入らなかつたりして、しんどくなるようです。学校や家庭において、子どもたちが出す様々なサインを見逃さずに早期に対応したいものです。



やまびこでは、SSW（スクールソーシャルワーカー）を常勤で配置し、保護者・児童生徒それぞれへの面談を受けて、学校と連携して複合的な課題を整理しながら、子どもや保護者が自らの力で問題に向き合っていけるよう支援しています。今後ともよろしくお願ひします。

スクールソーシャルワーカー SSW恒松先生が語る シリーズ教育相談



『子どもの居場所』

人には「ここに居ていいんだよ」と受け入れられ、安心して過ごせる「居場所」が必要です。家庭が第1の居場所、学校や職場が第2の居場所。それ以外の第3の居場所が要ると言われています。また、子どもの成長過程において、親や教師との縦の関係や友だちとの横の関係に加えて斜めの関係も大切です。利害関係がなく、無条件に味方になって褒めたり慰めたりしてくれる近所のおばさんや親戚のお兄ちゃんのような人たちです。虐待や貧困、マルトリートメント等家庭のしんどさを抱えている子どもや、学校生活がうまく送れていない子どもにとってはさらにその重要性が増します。しかし、最近、こういった「不要不急の」「なんとなく」「緩い」時間や空間、関係性がどんどんと希薄になってきています。

マルトリートメント

『避けるべき子育て』のこと。日本語で「不適切な養育」と訳され、子どもの健全な発育を妨げるとされています。WHOのChild Maltreatmentの定義は、「身体、精神、性虐待そしてネグレクトを含む児童虐待をより広く捉えた、虐待とは言い切れない大人から子どもへの発達を阻害する行為全般を含めた不適切な養育」となっています。

<具体例>

1. 子どもの前で夫婦喧嘩をする
2. 子どもにパートナーの悪口を言う
3. 子どもの話を聞かない／子どもの話を遮り、親だけが話をする
4. 親が決めた教育方針、進路、職業などを、子どもの意思を無視して押し付ける
5. 親の気分次第で子どもを叱りつける
6. 子どもが遊んでほしいがっているのに、親がスマホばかりいじっている
7. 子どもに門限がない／親がいない間、子どもが何をしているのか全く知らない



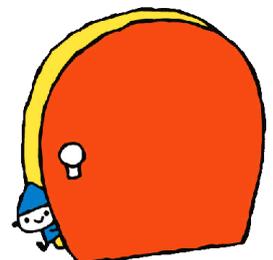
そんな状況の中、各地でその希薄さを埋めるために「子どもの居場所」というものが増えてきました。既存の「自治会活動」「〇〇教室」などに加えて、「子ども食堂」「トワイライトステイ^{※1}」や「フリースペース^{※2}」「フリースクール」も子どもにとっての第3の居場所となります。これらの安全で安心できる環境の中で、「みんなでご飯を食べる」「楽しく遊び、学ぶ」「大声で笑う」「特別扱いされる」「自分の気持ち話す」「日常とは違う言葉をかけられる」ことが出来ます。



あくまで、子どもの生活基盤は家庭であり学校です。その本来の自分の場所で、自分らしく生活し成長していけるように、日常の中にあるストレスやしんどさを逃し、内向きになっていた視点を外に向け、「明日も頑張ろう」と思えるエネルギーを補完するところが第3の居場所となります。

※1 トワイライトステイ…NPO等の支援団体における子どもの夜の居場所(定員3~5名)

※2 フリースペース…高齢者福祉施設における子どもの夜の居場所(定員3~5名)



シリーズ

司書さんおすすめの絵本



「ほんやねこ」(石川 えりこ/作 講談社)

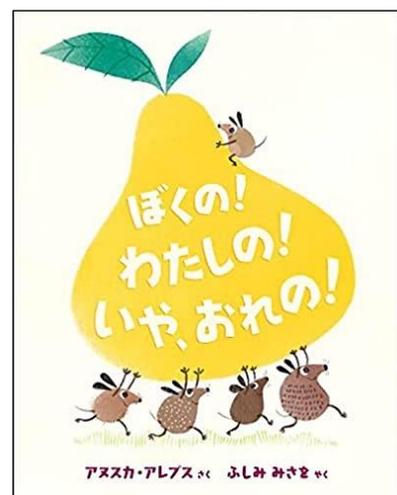
ある日、窓を閉め忘れて出かけてしまったほんやねこ。するとさあ大変!強い風が吹いて、本屋に置いてあった本の物語の人たちが外にとばされてしまいました。ほんやねこは無事にみんなを物語の中へ連れて帰れるでしょうか。おはなしに出てくるのは、ピノキオやシンデレラなど子どもたちも大好きな物語の登場人物たちです。いつもは出会わないおとぎ話の主人公たちが一緒に冒険する様子が楽しい絵本です。おとぎ話を一緒に紹介するのもおすすめです。



「ぼくの!わたしの!いや、おれの!」

(アヌスカ・アレプス/さく ふしみ みさを/訳 BL出版)

ジャングルにすむゾウたちは、くだものが大好きです。ある日、ゾウたちは珍しい木になっているおいしそうなくだものを見つけました。5頭のゾウたちは、それぞれ工夫して採ろうとしますが、なかなか上手くいきません。ところが、自分たちよりもずっと小さなネズミたちがくだものを簡単に採っていたのです。ゾウとネズミの違いが、協力することの大切さを教えてくれます。



「じゃない!」(チョーヒカル/作 フレーベル館)

これは、いろいろな野菜。・・・じゃなくて、〇〇!
さあ一体なんでしょう? ぜひ子どもたちと一緒に考えてみてください。野菜に見えるものは、実は〇〇です。いろいろなものが作者の手によって意外なものに変身し、写真に撮られています。想像力の豊かな子どもたちにかかれば、思ってもみないような答えが返ってくるかもしれません。発想とひらめきがおもしろい作品です。



読み聞かせなどに、ご活用ください

このシリーズは、市立図書館の司書さんのご協力を得て作成しています。

